

履修時期	2026年度前期	授業クラス	X	曜日	金	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	おもてなし手話			必修・選択	必修	講師名	佐藤 陽子			実務経験	有
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
勤務先に聴覚障害者がいたことをきっかけに手話を学び始め、約30年手話に携わり活動中。全国手話検定試験1級取得。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
			ブライダル業界においてよく使う単語や会話の手話を学ぶことで、聴覚障害のあるお客様と自らコミュニケーションを取れるようになる。また、新郎新婦やお客様に対してワンランク上のおもてなしができるようになる。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 基本の手話と接客時に役立つ手話を学ぶ。											
(授業形式) 講座ごとで定められたテーマに紐づいた単語、短文の表現方法を教え、授業内で練習を行う。また毎授業、グループワークを通して前週に習得した手話表現を復習する。											
(評価方法) 実技テスト											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック 到達目標 (Can Doなど)						
1	4月10日	オリエンテーション 手話概論/指文字と簡単な手話表現			☐ 学習の目的と目標を理解する ☐ 聴覚障害と手話の概略を説明できる						
2	4月17日	自己紹介(あいさつ・名前・指文字等)			☐ 「挨拶」に関する単語や短文を覚え、再度表現できる ☐ 自分の名前を手話で表せる						
3	4月24日	家族の紹介			☐ 「家族」に関する単語や短文を覚え、再度表現できる ☐ 自分の家族について手話で表せる						
4	5月8日	数字を使った表現			☐ 「数字」に関する単語や短文を覚え、再度表現できる ☐ 自分の誕生日や年齢、金額を手話で表せる						
5	5月15日	趣味に関する表現			☐ 「趣味」に関する単語や短文を覚え、再度表現できる ☐ 自分や家族の趣味について手話で表せる						
6	5月22日	確認テスト(30点) 振り返り			☐ 1～6コマ目で学んだ単語、短文を読み取り、再度表現できる ☐ 名前、生年月日、趣味等の自己紹介が手話で表せる						
7	5月29日	1日のことを話してみよう			☐ 「1日」に関する単語や短文を覚え、再度表現できる ☐ 自分の1日のスケジュールを手話で表現できる ☐ お客様や新郎新婦に挙式・披露宴のスケジュールを手話で表現できる						
8	6月5日	イベントや季節、色に関する表現			☐ フラワーやドレスで頻繁に使う「色」の表し方を覚え、再度表現できる ☐ 「イベントや季節」に関する単語や短文を覚え、再度表現できる						
9	6月12日	確認テスト(30点) 振り返り			☐ 7、8コマ目で学んだ単語、短文を読み取り、再度表現できる						
10	6月19日	接客手話①【新規接客】			☐ ウェディングプランナーとして、新規接客の導入を手話を用いて実践できる						
11	6月26日	接客手話②【打合せ(ヒアリング)】			☐ ウェディングプランナーとして、打合せにおけるヒアリングを手話を用いて実践できる						
12	7月3日	接客手話③【サービス(来館時)】			☐ サービススタッフとして、挙式披露宴当日のゲスト来館時のご案内を手話を用いて実践できる						
13	7月10日	接客手話④【サービス(ドリンクケア)】			☐ サービススタッフとして、披露宴におけるゲストへのドリンクケアを手話を用いて実践できる						
14	7月17日	接客手話⑤【入場説明】			☐ サービスキャブテンとして、新郎新婦への披露宴入場の説明を手話を用いて実践できる						
15	7月24日	確認テスト(40点) 振り返り			☐ これまで学んだ手話を使い、ろう者とコミュニケーションが取れる ☐ 自分の苦手なところを再確認する						
16	7月31日	フィードバック			☐ これまで学んだ単語、短文等、80%理解している ☐ これまで学んだ手話を使い、お客様対応ができる						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	X	曜日	木	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	ウェディングフォト			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）											
ゲストハウスにて約3年間ウェディングプランナーとして打合せ業務を担当。学生時代からのアテンド業務も含め5年間で約250組以上のお客様の結婚式に携わる。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
教材：講師作成のパワーポイントを中心に授業を展開 本格的なカメラを使用し、実践的なワークを行う			コンセプトを目に見えるカタチで表現できるようになる。 ブライダル業界の現場で活躍するプロから直接話を聞き、ウェディングフォトを専門的な視点から学ぶ。 カメラの基礎操作を習得し、実務で活かせる知識と技術を身につける。								
授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）											
(授業概要) 企業とのワークセッションを通して、ウェディングフォトに関する基礎知識や現場での実践的なノウハウを学ぶ。 写真や映像を通じてコンセプトをカタチにし、最終的にはフォトコンテストを行う。											
(授業形式) パワーポイントを用いた講義と、本格的なカメラを使用した実践形式の授業を組み合わせる。											
(評価方法) 確認テスト(筆記:20点)×2回+(課題:20点)×3回=100点											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月16日	シラバス説明・写真の価値とは			☐ 授業の目的を理解した ☐ 写真の価値を改めて知ることができた						
2	4月23日	ウェディングフォトの基礎知識			☐ ウェディングフォトの基礎知識を習得した						
3	5月7日	スポーツデー			☐ ☐ ☐						
4	5月14日	企業ワークセッション①(キヤノン株式会社様) カメラの使い方講座			☐ 写真に関する基本的な知識を習得した ☐ カメラの仕組みを理解した						
5	5月21日	企業ワークセッション②(キヤノン株式会社様) カメラ実習			☐ ワークセッションで学んだ知識を活かして撮影に取り組むことができた ☐ 基本的な撮影技術を身につけた						
6	5月28日	撮影時の声掛けについて ★確認テスト①(筆記:20点/フォトの知識)★			☐ 撮影時の声掛けのポイントを理解することができた ☐ 撮影時の声掛けを実践し、習得することができた						
7	6月4日	企業ワークセッション③ ★フィードバックシート提出(課題:20点)★			☐ ウェディングフォトの基礎知識を理解した ☐ プロの視点や考え方を学ぶことができた						
8	6月11日	物撮りワーク ★確認テスト②(筆記:20点/カメラの使い方)★			☐ 被写体の魅力が伝わる構図で撮影することができた ☐ 背景や小物を工夫し、世界観をつくることができた ☐ チームで協力して制作することができた						
9	6月18日	フォトコンテスト準備① (企画・コンセプトメイク・準備)			☐ フォトコンテストの企画ができた ☐ コンセプトメイクに取り組むことができた ☐ 撮影に向けた準備を整えることができた						
10	6月25日	企業ワークセッション④ ★フィードバックシート提出(課題:20点)★			☐ ウェディングフォトの応用的な知識を理解した ☐ プロの視点や考え方を学ぶことができた						
11	7月2日	フォトコンテスト準備② (撮影)			☐ フォトコンテストの撮影に取り組むことができた ☐ チームで役割分担をし、協力して作業に取り組めた						
12	7月9日	フォトコンテスト準備③ (撮影・動画編集・プレゼンテーション準備・作品PR アイテム作成)			☐ フォトコンテストの撮影に取り組むことができた ☐ フォトコンテストの動画編集を行った ☐ プレゼンテーションの構成や内容を考案できた						
13	7月16日	フォトコンテスト準備④ (動画編集・プレゼンテーション準備・作品PRアイテム 作成)			☐ フォトコンテストの動画編集を行った ☐ プレゼンテーションの構成や内容を考案できた ☐ チームで協力して制作することができた						
14	7月23日	フォトコンテスト(プレゼンテーション・振り返り) ★振り返りシート(課題:20点)★			☐ フォトコンテストでのプレゼンテーション発表を行った ☐ フォトコンテストの振り返りができた						
15	7月30日	フォトコンテスト結果発表 最終ワーク・フィードバック			☐ フォトコンテストの結果発表を受け入れ、次への学びとして活かすことができた ☐ 最終ワークに取り組み、自己の成長を実感できた						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	Y	曜日	火	時限	I	単位数	2	時間数	30
科目名	セールスプロモーション			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）											
株式会社ベストブライダル（約9年）for Theory（約3年）株式会社TRINITY BRIDAL設立（現在6期目）過去約3500組様の新規接客を実施											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
講師作成のパワーポイントを中心に授業を展開			◆新規接客の重要性を理解し、新規接客一連の流れを学び、身に着ける ◆お客様のニーズを引き出し、的確な提案ができるようになる								
授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）											
(授業概要) ◆プランナー業務をより具体的に理解し、新規接客の目的や重要性、一連の流れを学ぶ ◆講義、ロールプレイングを繰り返しながら身に付ける											
(授業形式) 講義および実技等											
(教材) 講師作成のパワーポイント											
(評価方法) 確認テスト（30点+25点×2+20点=合計100点）※全て筆記											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標（Can Doなど）					
1	4月14日	シラバス説明・オリエンテーション			☐ 授業内容について理解した						
2	4月21日	①新規接客の基本的な流れと基礎			☐ 新規接客の基礎と流れを学べた						
3	4月28日	②会場内覧の基礎（挙式会場）			☐ 会場内覧（挙式会場）の基礎を理解した						
4	5月12日	③会場内覧の基礎（披露宴会場）			☐ 会場内覧（披露宴会場）の基礎を理解した						
5	5月19日	【実技】会場内覧ロープレ			☐ 会場内覧ロープレが実施できた						
6	5月26日	確認テスト①（筆記/30点分） ④会場内覧後セミクロージング			☐ セミクロージングについて理解した						
7	6月2日	⑤未決要因を防ぐ、ゲスト目線を意識させる接客			☐ ゲスト目線を意識させる接客を理解した						
8	6月9日	⑥新規接客におけるお見積もり			☐ 新規接客における見積もりを理解した						
9	6月16日	【実技】お見積もり説明ロープレ			☐ お見積もりロープレが実施できた						
10	6月23日	確認テスト②（筆記/25点分） ⑦日程ヒアリング～日程提示			☐ 日程ヒアリング～提示を理解した						
11	6月30日	⑧クロージング～お見送り			☐ クロージングからお見送りを理解した						
12	7月7日	確認テスト③（筆記/25点分） 【実技】日程提示～クロージングロープレ			☐ 日程提示～クロージングのロープレが実施できた						
13	7月14日	⑨損益計算書とは			☐ 損益計算書を学んだ						
14	7月21日	確認テスト④（筆記/20点分）			☐ 損益計算書について理解を深めることができた						
15	7月28日	フィードバック			☐ 成績フィードバック						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	Z	曜日	木	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	バリエーションウェディング			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
2016年より株式会社テイクアンドギヴ・ニーズにて、ウェディングプランナーとして7年間勤務。新規接客・お打合せ・当日施行まで一貫して携わった。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
(教材) スライド資料等			現代に合わせたウェディングのカタチを理解し、お客様よりも先を歩けるブライダル人材になる。 現代顧客のニーズを知り、企業の取り組みを学ぶことで社会人でも活用できる学びを得る。 多様化する結婚式を理解し、リアルウェディングの提案に結びつけることができるようになる。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 実際のお客様の声や企業の動きを講義を通して伝えていく。 自らの頭で理解し、熟考・アウトプットができるようワークショップも入れながら授業を行う。											
(授業形式) 講義および実技等											
(評価方法) 評価基準は、A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下) 課題(20点×2回)、筆記(20点×2回)、発表・課題(20点×1回)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック 到達目標 (Can Doなど)						
1	4月16日	オリエンテーション・シラバスの説明 前撮りについて			☐ 授業の概要が理解できた ☐ ブライダル人材として必要な発想力の重要性について理解できた ☐ 現代の前撮りの在り方・需要について理解できた						
2	4月23日	前撮りプラン作成 ★確認テスト①(筆記20点)			☐ 前撮りのプランを自ら構築することができた ☐ 前撮りのプランを提案することができた ☐ 前撮りについての確認テストが実施できた						
3	5月7日	スポーツデー									
4	5月14日	コンセプトウェディングについて			☐ コンセプトウェディングについて理解を深めることができた ☐ コンセプトの構築方法を学び、熟考・組み立てができる状態						
5	5月21日	コンセプトシートの作り方・提案のポイント			☐ お客様のニーズに合ったコンセプトシートを作成することの重要性が理解できた ☐ 提案を行う際の伝え方を学ぶことができた						
6	5月28日	コンセプトメイク ★確認テスト②(課題・筆記20点)			☐ ニーズに合わせたコンセプトを創ることができた ☐ お客様の心に響くようなワードを使いながらコンセプトを提案することができた ☐ コンセプトウェディングについての確認テストを実施できた						
7	6月4日	コロナ禍の結婚式について			☐ コロナ禍で変化したウェディングのカタチを理解できた ☐ 不測の事態が起きた時に柔軟に対応できる引き出しができた						
8	6月11日	海外・国内リゾートの結婚式について			☐ 海外・国内リゾート挙式にはどんなメリットがあるのか理解できた ☐ 国内挙式との違いを言語化できる状態						
9	6月18日	バリエーションウェディングの実例①			☐ 障がいをもった新郎新婦さまの結婚式の実例を通して 多様化するニーズを学び、想像力を養うことができた						
10	6月25日	バリエーションウェディングの実例② ★確認テスト③(筆記20点)			☐ LGBTQ2+について理解を深めることができた ☐ 結婚式の実例を通して、多様化するニーズを学び想像力を養うことができた ☐ バリエーションウェディングについての確認テストが実施できた						
11	7月2日	ケーススタディ①(ウェディングプランナー) ★確認テスト④(課題20点)			☐ ケーススタディを通して、想像力を使いながら自らの行動を熟考することができた ☐ ウェディングプランナーとして柔軟性を持った考え方ができるようになった ☐ ケーススタディについて確認テストを実施できた						
12	7月9日	ケーススタディ② (サービススタッフ・ドレス・フラワー・音響照明)			☐ 企業実習での経験を共有し、知識を深めることができた ☐ ケーススタディを通して、想像力を使いながら自らの行動を熟考することができた ☐ ブライダルスタッフとして柔軟性を持った考え方ができるようになった						
13	7月16日	授業で学んだことを生かしたプラン創り			☐ これまでの学びを活かし、チームで協力しながら結婚式のプランを考える						
14	7月23日	結婚式プラン創りの発表 ★確認テスト⑤(発表・課題20点)			☐ チームで創り上げた結婚式のプランを発表する						
15	7月30日	フィードバック ブライダル業界にどう関わりたいか考える			☐ 前期授業を振り返り、多様なニーズに対応する柔軟な視点を養うことができた ☐ 個々のビジョンを持ちながらブライダル業界に貢献する方法を熟考できた						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	X	曜日	木	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	ブライダルマーケティング			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
2016年より株式会社ティクアンドギヴ・ニーズにて、ウェディングプランナーとして7年間勤務。新規接客・お打合せ・当日施行まで一貫して携わった。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
(教材) スライド資料等			マーケティングの基本プロセスや種類、分析手法を理解し、自身のスキルとして活用できるようになる。 ブライダルフェアを企画・運営するためにフェアの流れや企業ごとの違いを学ぶ。 企業タイアップのもと、ブライダルフェアの考案・提案を行う。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) マーケティングの基礎、およびブライダル企業におけるマーケティング手法や実態を学び、ブライダルフェアを企画・運営するための知識を習得する。											
(授業形式) 講義およびプレゼンテーション、グループワーク等											
(評価方法) 評価基準は、A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下)											
課題(20点×1回)、筆記(20点×2回)、プレゼンテーション(20点×2回)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック 到達目標 (Can Doなど)						
1	4月16日	オリエンテーション マーケティングの基本			☐ 成果発表としてブライダルフェアを自分たちでつくるということを理解した。 ☐ ブライダルフェアの大まかな流れを理解した。 ☐ マーケティングとは何か、基本プロセスやその種類を理解した。 ☐ なぜ学生のうちにマーケティングを学ぶのか理解し、自分事で考える思考ができた。						
2	4月23日	マーケティングにおける 重要ポイントと分析手法 ★確認テスト①(筆記20点)			☐ マーケティングを行う上での重要ポイントを理解した。 ☐ 身近なものに置き換えて実践することで分析手法を習得できた。 ☐ マーケティングの基本について筆記テストが実施できた。						
3	5月7日	スポーツデー			☐ ☐ ☐						
4	5月14日	マーケティングにおける 重要ポイントと分析手法 ★確認テスト②(課題20点)			☐ マーケティングを行う上での重要ポイントを理解した。 ☐ 身近なものに置き換えて実践することで分析手法を習得できた。 ☐ マーケティングの重要ポイントと手法について課題テストが実施できた。						
5	5月21日	ブライダル業界におけるマーケティング			☐ ブライダル業界において行われているマーケティングについて理解した。						
6	5月28日	ブライダルフェアとは ★確認テスト③(筆記20点)			☐ ブライダルフェアの詳しい内容や企業ごとの違いを知ることができた。 ☐ ブライダル業界におけるマーケティングについて筆記テストが実施できた。						
7	6月4日	ペルソナ・ターゲット・クラスタ理解			☐ ペルソナ・ターゲット理解の重要性を学ぶことができた。 ☐ クラスタ分析について理解することができた。						
8	6月11日	集客導線の設計			☐ ブライダルフェアの集客導線を理解することができた。 ☐ ペルソナに合わせた集客をすることの重要性を学ぶことができた。						
9	6月18日	企業タイアップ フェア提案① 概要説明			☐ フェア提案について、目的やターゲットなど概要を理解した。						
10	6月25日	企業タイアップ フェア提案② プレゼンテーション準備			☐ フェア提案に向けてプレゼンテーションの準備ができた。						
11	7月2日	企業タイアップ フェア提案③ プレゼンテーション準備			☐ フェア提案に向けてプレゼンテーションの準備ができた。						
12	7月9日	企業タイアップ フェア提案④ リハーサル ★確認テスト④(プレゼンテーション20点)			☐ プレゼンテーションのリハーサルができた。 ☐ 他チームのプレゼンを聞いて、改善点等アドバイスができた。						
13	7月16日	企業タイアップ フェア提案⑤ プレゼンテーションブラッシュアップ			☐ リハーサルのフィードバックを基に、プレゼンテーションのブラッシュアップができた。						
14	7月23日	企業タイアップ フェア提案⑥ プレゼンテーション本番 ★確認テスト⑤(プレゼンテーション20点)			☐ 考案したブライダルフェアの提案を行うことができた。						
15	7月30日	フィードバック			☐ 前期の授業を振り返り、得た学びと現状の課題を整理することができた。						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	Y	曜日	金	時限	2	単位数	2	時間数	30
科目名	プロジェクトマネジメント			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）											
株式会社アキアソフトキヤンパニースにてウェブアプリケーション・オペレーターとして約二年間勤務し、担当・キヤクアツとして約200件担当。また、レハレクス株式会社にて（新卒採用のキヤクアツアドバイザーとして約1000名を担当。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
教材：パワーポイントを中心に授業を展開				「チーム」でひとつの結婚式を創り、運営するために必要なスキルの習得。 リアルウェディングのお打ち合わせを学生が主体となって行うことができ、後期末に行うリアルウェディングを行うにあたって必要なスキルの習得。							
授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）											
（授業概要） 成果発表（リアルウェディング）に向けて、チームで会議やロールプレイング、アイテム制作等を行う実践型の授業。 （授業形式） 講義および実技型 （評価方法） 課題提出または確認テストを実施。 課題10点×2回+20点×4回=100点											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック 到達目標（Can Doなど）						
1	4月10日	オリエンテーション リアルウェディング目標設定・役割説明 ★課題提出あり（10点）			☐ 授業の概要が理解できた ☐ チーム目標が明確にできた ☐ リアルウェディングの役割を理解できた						
2	4月17日	役割決定（当日・準備・打合せ）			☐ リアルウェディングの役割を責任を持って決定することができた						
3	4月24日	個人目標設定 リアルウェディング規定・議事録について ★課題提出あり（10点）			☐ 個人目標が明確になった ☐ リアルウェディングの規定を理解できた ☐ 打合せ議事録の作成方法が理解できた						
4	5月8日	新郎新婦へのメールの送り方 個人情報の取り扱い ★課題提出あり（20点）			☐ 新郎新婦様に向けたメールを作成できるようになった ☐ 個人情報の取り扱いについて理解できた						
5	5月15日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
6	5月22日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
7	5月29日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
8	6月5日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義 ★確認テスト（20点）			☐ 打合せの準備や練習ができた						
9	6月12日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
10	6月19日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
11	6月26日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義 ★確認テスト（20点）			☐ 打合せの準備や練習ができた						
12	7月3日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
13	7月10日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
14	7月17日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義 ★確認テスト（20点）			☐ 打合せの準備や練習ができた						
15	7月24日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						
16	7月31日	打合せ準備（資料作成・打合せ練習） ※必要に応じて講義			☐ 打合せの準備や練習ができた						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	Y	曜日	火	時限	4	単位数	2	時間数	30
科目名	婚礼プロデュース演習			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
2016年より株式会社テイクアンドギヴ・ニーズにて、ウェディングプランナーとして7年間勤務。新規接客・お打合せ・当日施行まで一貫して携わった。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
(教材) スライド資料、講師のデモンストレーション等			結婚式を施行するために必要な知識・スキルを習得しプランナー業務を身をもって実践する。 お客様とお打合せを行う上で必要なマナーやコミュニケーション、寄り添う力を育む。 チーム内での役割分担、情報共有、スケジュール管理を徹底。リアルウェディングの施行を成功させる。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) ウェディングプランナーの業務内容を体感することで、結婚式を施行するために必要な知識・スキルを身につける。 リアルウェディングのお客様に対して、寄り添ったプランニングができ、結婚式を成功に導く主体的な行動が取れるようになる。											
(授業形式) 講義および実技、グループワーク等											
(評価方法) 評価基準は、A(100～80点)、B(79～70点)、C(69～60点)、D(59点以下) 筆記(20点×2回)、課題・筆記(30点×2回)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月14日	リアルウェディング概要説明 初回お打合せレクチャー			☐ 授業の目的・目指すべき姿を述べることができた。 ☐ オリエンテーションの目的と方法を理解した。 ☐ 新郎新婦ヒアリングの基礎を学ぶことができた。						
2	4月21日	初回お打合せ準備 ★確認テスト①(筆記20点)			☐ 初回お打合せの練習、準備ができた。 ☐ 初回お打合せの筆記テストが実施できた。						
3	4月28日	初回お打合せテスト			☐ 初回お打合せのテストに合格した。						
4	5月12日	招待状お打合せレクチャー			☐ 招待状お打合せの目的と方法を理解した。 ☐ 招待状の基本知識が理解できた。 ☐ ゲストヒアリングの基礎を学ぶことができた。						
5	5月19日	招待状お打合せ準備 ★確認テスト②(筆記20点)			☐ 招待状お打合せの練習、準備ができた。 ☐ 招待状お打合せの筆記テストが実施できた。						
6	5月26日	招待状お打合せ準備			☐ 招待状お打合せの練習、準備ができた。						
7	6月2日	招待状お打合せテスト			☐ 招待状お打合せのテストに合格した。						
8	6月9日	提案お打合せレクチャー			☐ 提案お打合せの目的と方法を理解した。 ☐ ヒアリングを基に提案構築の考え方を学ぶことができた。						
9	6月16日	提案お打合せ準備			☐ 提案お打合せの練習、準備ができた。						
10	6月23日	提案お打合せ準備 ★確認テスト③(課題10点・筆記20点)			☐ 提案お打合せの練習、準備ができた。 ☐ 提案お打合せの課題・筆記テストが実施できた。						
11	6月30日	提案お打合せテスト			☐ 提案お打合せのテストに合格した。						
12	7月7日	進行お打合せレクチャー			☐ 進行お打合せの目的と方法について理解した。 ☐ ゲストの温度感を上げる仕組みについて学ぶことができた。						
13	7月14日	進行お打合せ準備			☐ 進行お打合せの練習、準備ができた。						
14	7月21日	進行お打合せ準備 ★確認テスト④(課題10点・筆記20点)			☐ 進行お打合せの練習、準備ができた。 ☐ 進行お打合せの課題・筆記テストが実施できた。						
15	7月28日	進行お打合せテスト			☐ 進行お打合せのテストに合格した。						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	X	曜日	火	時限	I	単位数	2	時間数	30
科目名	婚礼衣装			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
ブライダル衣裳業務(レンタルからオートクチュール) 30年現職中。部長職、マネージャー職、スタイリストからクチュール業務まで経験有。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
デジタルテキスト			ドレスとタキシードのコーディネーターとしての実技を中心とした授業展開を実施し、就職後やリアルウェディングの打合せの接客につなげる、一連の業務を通して、現場の必要な知識と実技を習得する。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 主にドレスとタキシード、コーディネーターとしての実技を中心とした授業展開を実施し、就職後やリアルウェディングの接客と実務の知識習得につなげる。											
(授業形式) 実技:カウンセリングからクロージング、採寸からお直しまで行い、リアルウェディングを想定した授業を取り入れる。											
(教材) デジタルテキスト											
(評価方法) 100点満点評価。個人別グループ別による確認実技テスト実施。筆記テスト有。実技を通した書類作成評価含む。											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月14日	シラバスの説明(課題と実技と筆記試験の説明)・ドレスとタキシードのサイズ表記について・フィッティング再確認とレクチャー			☐ シラバスの内容を理解する ☐ ドレスとタキシードのサイズ表記を理解する ☐ ドレスとタキシードの着せ付け方法を再確認する						
2	4月21日	・ドレスとタキシードのフィッティング練習 ・フィッティングに必要な採寸確認、寸法表提出			☐ サイズに合う衣装を選ぶことができる ☐ ドレスとタキシードの着せ付けが出来るように練習を実施 ☐ フィッティングの際のトークが、適切に出来るようにする						
3	4月28日	【確認:実技テスト20点】 ドレス・タキシードフィッティングトーク及び採寸確認			☐ フィッティングに必要な採寸が出来るようにする ☐ サイズに合う衣装をご案内できるようにする ☐ フィッティングの際に必要なお声がけが出来るようにする						
4	5月12日	・ドレスとタキシードのコーディネーターの打ち合わせと一連の流れの説明 ・【確認:筆記テスト20点】			☐ カウンセリングから契約、契約後の一連の流れを理解する ☐ カウンセリングに至るまでの接客トークを理解・練習する ☐ チーム分け						
5	5月19日	・クラスター分析・会場とドレスタイプ分けについて・骨格と体型に合わせた衣装選びについて			☐ クラスター別、会場とドレスタイプ分類→チームとしての提案内容決め ☐ 骨格×体型別ドレス選びのポイントを理解する						
6	5月26日	・カウンセリングレクチャー ・セミオーダーについて			☐ カウンセリングシートの内容について理解する ☐ カウンセリングに至るまでの接客トークを理解・練習する ☐ セミオーダー・サイズオーダーについて理解する						
7	6月2日	・カウンセリング練習			☐ チームで分担を実施する ☐ チーム内でご来店～カウンセリングのロープレ練習を実施する ☐ 他作業内容の分担決め						
8	6月9日	・カウンセリング実技テスト 【確認:実技テスト20点:カウンセリング】			☐ チームでカウンセリングを実施する ☐ カウンセリングシート作成、提出						
9	6月16日	・ドレスとタキシード紹介・提案・レクチャー			☐ ドレスとタキシードの紹介概要について理解する ☐ 提案の方法のレクチャー・ロープレを実施する						
10	6月23日	・ドレスとタキシードコーディネイト提案発表 【確認:実技テスト20点】			☐ カウンセリングシートを使用して、チームヘッドレスとタキシード各2着紹介を実施する ☐ 他社評価も行う						
11	6月30日	・お直し実技 ・ドレスとタキシードのお直し確認と実技(分担作業)			☐ ドレスとタキシードのお直し箇所を理解し、リスト化する。お直し表作成 提出 ☐ 着用できるよう、お直し実践 ☐ 協力して作業を行えるようにする						
12	7月7日	・小物合わせレクチャー			☐ 小物合わせの概要を理解する ☐ リアルウェディングのお客様への提案小物を考案する ☐ 小物合わせの際の接客トークを理解する						
13	7月14日	・トータルコーディネイト(お直し済) 【確認:実技テスト20点】 トータルコーディネイト発表(歩き方説明含)			☐ チームでトータルコーディネイト コーディネイト表、お届け商品リスト作成、提出 ☐ 写真撮影(きれいに撮るポージングの再認識) ☐ (お直し出来上がり評価有)						
14	7月21日	・ケーススタディ			☐ リアルウェディングで起きたケーススタディをグループワークで考える→発表 ☐ 実際の現場で起きた意見やクレームについてグループワークにて考える→発表 ☐ ドレスとタキシードのお直し戻しする						
15	7月28日	・フィードバック			☐ 授業の振り返り ☐ 成績フィードバックについて理解し、自分の課題について理解 ☐ 今後の取り組みを理解する						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	Z	曜日	水	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	婚礼宴会サービス			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述（授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載）											
2019年より株式会社テイクアンドギョウ・ニーズにて、ウェディングプランナー、イベントディレクターとして、4年半新規接客から打合せ、当日施行まで一貫して結婚式に携わる。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
(教材) スライド資料、講師のデモンストレーション等			セクション毎に実施内容を共有し、挙式から披露宴の実技練習を行う。 後期に実施する2年間の集大成である、リアルウェディングを見据えて、結婚式全体の動きの習得を目指す。								
授業概要（成果発表や課外活動など含む）、授業形式（座学や実技、ワークなど）、評価方法と基準（形式や回数、配点など）											
(授業概要) 成果発表（リアルウェディング）に向けて、挙式から披露宴を行う実技の練習授業。 (授業形式) 講義および実技等 (評価方法) 筆記（30点×1回）課題（10点×4回、30点×1回）											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己チェック 到達目標（Can Doなど）						
1	4月15日	進行表を用いた新郎新婦お迎え～お見送りまでの全体オペレーション確認			☐ 新郎新婦お迎え～お見送りまでの全体の動きをイメージすることができた。 ☐ 今までの成果発表で担当していない役割の当日の動きについても、理解を深めることができた。 ☐ 進行に合わせて役割ごとに任されている仕事内容を把握することができた。						
2	4月22日	新郎新婦お迎え～挙式レクチャー ★確認テスト①（筆記/30点）			☐ レクチャーを通して、新郎新婦お迎え～挙式までのオペレーションを改めて理解できた。						
3	5月13日	挙式後セレモニー～中座レクチャー			☐ レクチャーを通して、挙式後セレモニー～中座までのオペレーションを改めて理解できた。						
4	5月20日	お色直し入場～新郎新婦お見送りレクチャー			☐ レクチャーを通して、お色直し入場～新郎新婦お見送りまでのオペレーションを改めて理解できた。						
5	5月27日	リアルウェディングに向けた実技練習			☐ 各役割ごとに通し練習に向けた動きの練習ができた。						
6	6月3日	リアルウェディングに向けた実技練習			☐ 各役割ごとに通し練習に向けた動きの練習ができた。						
7	6月10日	リアルウェディングに向けた実技練習			☐ 各役割ごとに通し練習に向けた動きの練習ができた。						
8	6月17日	新郎新婦お迎え～挙式後セレモニーまでの通し練習 ★確認テスト②（課題/10点）			☐ 新郎新婦お迎え～挙式後セレモニーまでを通して実施することができた。 ☐ 通し練習を実施するなかで、個人とチームの課題を見つけることができた。						
9	6月24日	披露宴入場～新郎新婦お見送りまでの通し練習 ★確認テスト③（課題/10点）			☐ 新郎新婦お迎え～挙式後セレモニーまでを通して実施することができた。 ☐ 通し練習を実施するなかで、個人とチームの課題を見つけることができた。						
10	7月1日	通し練習振り返り リアルウェディングに向けた実技練習 ★確認テスト④（課題/30点）			☐ 通し練習の振り返りを行い、個人とチームの課題や改善策を整理できた。 ☐ 各役割ごとに通し練習に向けた動きの練習ができた。						
11	7月8日	リアルウェディングに向けた実技練習			☐ 各役割ごとに通し練習に向けた動きの練習ができた。						
12	7月15日	新郎新婦お迎え～挙式後セレモニーまでの通し練習 ★確認テスト⑤（課題/10点）			☐ 1回目の通し練習をふまえて、新郎新婦お迎え～挙式後セレモニーまでを通して実施することができた。 ☐ 通し練習を実施するなかで、個人とチームの課題を見つけることができた。						
13	7月22日	披露宴入場～新郎新婦お見送りまでの通し練習 ★確認テスト⑥（課題/10点）			☐ 1回目の通し練習をふまえて、新郎新婦お迎え～挙式後セレモニーまでを通して実施することができた。 ☐ 通し練習を実施するなかで、個人とチームの課題を見つけることができた。						
14	7月29日	フィードバック			☐ 前期の授業を振り返り、授業で得た学びと現状の課題を整理することができた。						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	X	曜日	木	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	色彩基礎知識			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
日本カラーコーディネーター協会 認定講師。学校、行政や企業などの団体へ色彩セミナーの講師や、個人向けのカラーコンサルティングを行っている。											
教材・自己学習法・目指せる資格など			授業のねらい、将来の活用例など								
資格:色彩活用パーソナルカラー検定3級 教材:公式テキスト、新配色カード199a、PCCストーン別色相環、まなびのトビラ(オンライン)			色の基礎的な知識を学んだ上で、ブライダルの現場において衣装やヘアメイク、会場作りなど、お客様に合わせた提案ができるようになること。ビジネスや日常生活など全てのシーンに「色」が活かされているということを体感すること。色彩を活用して自己表現ができるようになること。色彩活用パーソナルカラー検定3級の取得を目指す。								
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 色彩の基礎を、『色彩活用パーソナルカラー検定公式テキスト』に沿って学習を進める。講義だけでなく、カラーワークやドレーピング等の実習を通して色を見分ける力を身につけていく。自分の似合う色を体感しながら「自分らしさ」と向き合い、自分らしい色の取り入れ方を考えたり、お客様への提案方法など事例を踏まえながら学んでいく。											
(授業形式) 講義および実技等											
【カラーワーク】の記載がある授業では、新配色カード・ハサミ・のりを持参すること。											
(評価方法)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月16日	オリエンテーション(授業の目的) トーンマップ作成【カラーワーク】			☐ パーソナルカラーの目的とは? ☐ P.I.と自分ブランディングとは? ☐ 自分の色感チェック!						
2	4月23日	色の見方の基本(色の三属性)			☐ 色をとらえる3つのポイント(色の三属性) ☐ パーソナルカラーの色の分類方法を押さえよう! ☐ いろんな色を衣分けられるようになるよう!						
3	5月7日	スポーツデー			☐ ☐ ☐						
4	5月14日	トーン(色の調子)			☐ トーンとは? ☐ トーンのしくみについて押さえよう! ☐ 色をトーンでとらえられるように慣れていこう!						
5	5月21日	パーソナルカラーの色分類【カラーワーク】			☐ 各グループの色の特徴を覚えよう! ☐ 各グループの色のイメージを言葉で整理しよう ☐ 各グループの色を見分け、カラーパレットを仕上げる						
6	5月28日	似合う色の基準は「色素」			☐ もって生まれた色素は「P.I.」 ☐ 色素と三属性の関係 ☐ 色素チェックで自分の似合う色を予想してみよう!						
7	6月4日	テスト(40点) ドレーピング実習&課題作成 ①			☐ ドレーピングの手順、注意点について ☐ 評価対象:課題(コラージュ作成)についての評価ポイント ☐ グループに分かれて実習と課題作成の進め方						
8	6月11日	ドレーピング実習&課題作成 ②			☐ グループに分かれて実習と課題作成 ☐ ドレーピング実習:顔映りの変化、色素と調和する・しないの違いを体感し、見極める ☐ コラージュ作成:各グループの色の違いを表現しよう						
9	6月18日	ドレーピング実習まとめ 似合う色の取り入れ方 課題提出(20点)			☐ 各タイプごとに似合う色と苦手な色の見え方を整理しよう ☐ 柄・素材・アクセサリーの「似合う」を色の三属性で整理して押さえよう! ☐ 似合う色と似合わない色の取り入れるポイントを押さえよう!						
10	6月25日	対比 色名			☐ 周りの色の影響を受けて色がどのように変化して見えるか? ☐ 色の三属性において起こる「色の対比」の考え方を押さえよう! ☐ 系統色名と慣用色名の違いを押さえよう!						
11	7月2日	色と光			☐ なぜ色は見えるのか? ☐ 可視光を大きく3つに分ける(長波長・中波長・短波長) ☐ 可視光の範囲、各波長の範囲の数字をチェック!						
12	7月9日	小テスト(40点) 総復習・過去問題			☐ 検定の問題傾向を押さえよう! ☐ 検定の過去問題を解いて問題に慣れていこう! ☐ 苦手なところを中心に学習を進め、検定に備えよう!						
13	7月16日	総復習・過去問題			☐ 検定の問題傾向を押さえよう! ☐ 検定の過去問題を解いて問題に慣れていこう! ☐ 苦手なところを中心に学習を進め、検定に備えよう!						
14	7月23日	検定受験			☐ オンライン受験(授業内で受験) ☐ 全89問 選択形式 ☐ 合格ライン:80%の正答を目指そう!						
15	7月30日	フィードバック			☐ 総まとめ ☐ 自分らしさについて考えよう ☐						

履修時期	2026年度前期	授業クラス	Y	曜日	水	時限	3	単位数	2	時間数	30
科目名	接客スキルトレーニング			必修・選択	必修			実務経験	有		
実務経験の内容と授業に活かす具体的記述(授業に関連した実務経験を有し、その経験を実践的教育に活かす場合のみ記載)											
13年間ホテル・ゲストハウスにてウェディングプランナーとして業務。新規接客～打合せ、マネジメント・採用・新人育成の経験。											
教材・自己学習法・目指せる資格など				授業のねらい、将来の活用例など							
(教材) スライド資料、講師のデモンストレーション等				現場を意識しながらアイスブレイクの方法を学び、お客様との信頼関係を築く力を身につける 些細な仕草・態度・表情の変化を汲み取り、お客様の要望を引き出すヒアリング能力の向上。							
授業概要(成果発表や課外活動など含む)、授業形式(座学や実技、ワークなど)、評価方法と基準(形式や回数、配点など)											
(授業概要) 講義にて接客における必要な知識・技術を伝え、現場で活かすことができるスキルをディスカッション・ロールプレイングにて習得する											
(授業形式) 講義・実技・グループワーク等											
(教材) スライド資料・講師のデモンストレーション											
(評価方法) 実技(30点×2回)、筆記(20点×2回)											
回数	実施日	学習項目や学習概略			自己 チェック	到達目標 (Can Doなど)					
1	4月15日	オリエンテーション アイスブレイクとは			☐ 授業のねらいと達成目標の確認 ☐ アイスブレイクの必要性 ☐						
2	4月22日	接客の基本(話し方・態度・リアクション・マインドセット・所作のポイント)			☐ 接客の基本の必要性の理解 ☐ 相手に与える印象の違いを学ぶことができた ☐						
3	5月13日	気遣いのポイント			☐ 現場で必要な気遣いのポイントを学ぶことができた ☐ 相手の立場・気持ちに寄り添い行動することのたいせつさを学ぶことができた ☐						
4	5月20日	接客の基本・気遣いの基本 ロールプレイング練習			☐ 現場で活かせる接客・気遣いの基礎を習得した ☐ ☐						
5	5月27日	接客の基本・気遣いの基本 ロールプレイングテスト① ★確認テスト①-1(実技30点)			☐ 授業で学んだスキルや知識を実践することができた ☐ ☐						
6	6月3日	接客の基本・気遣いの基本 ロールプレイングテスト② ★確認テスト①-2(実技30点)			☐ 授業で学んだスキルや知識を実践することができた ☐ ☐						
7	6月10日	観察力の向上 効果的な褒め方			☐ 観察力を高めることができた ☐ 褒めることに必要な具体的な手法を習得し、ポジティブ変換ができるようになった ☐						
8	6月17日	テストフィードバック 相手に合わせた接客方法			☐ 相手の無意識な行動から気持ちを汲み取り、接客に活かすポイントを習得 ☐ ☐						
9	6月24日	ヒアリングとは ヒアリングの基礎 ★確認テスト②(筆記20点)			☐ ヒアリングの基礎を学ぶことができた ☐ ☐						
10	7月1日	共感力の向上 ヒアリングのポイント			☐ 相手に興味を持ちたくさん質問することができた ☐ 共通の話題を広げる方法を学ぶことができた ☐ 相手が何を求めているかの仮説をたてることができた						
11	7月8日	提案力の向上 ヒアリング・提案ロールプレイング練習 ★確認テスト③(筆記20点)			☐ ヒアリングを基に、学校のチャペル・披露宴会場や演出を提案することができた ☐ ☐						
12	7月15日	ヒアリング・提案ロールプレイングテスト① ★確認テスト④-1(実技30点)			☐ ヒアリングで相手の要望を引き出すことができた ☐ 相手の要望を引き出し、提案することができた ☐						
13	7月22日	ヒアリング・提案ロールプレイングテスト① ★確認テスト④-2(実技30点)			☐ ヒアリングで相手の要望を引き出すことができた ☐ 相手の要望を引き出し、提案することができた ☐						
14	7月29日	テストフィードバック			☐ フィードバックを通じて、自身の課題を整理することができた ☐ ☐						